

STIHL®

STIHL FCB-KM

取扱説明書



目次

コンビツール	2
はじめに	2
使用上の注意および作業方法	2
本機の使い方	7
承認されたコンビエンジン	9
運転準備	9
コンビツールの取付け	10
カッティング ブレードの取り付け	10
エンジンの始動と停止	11
機械の保管	11
デブス ホイールの交換	12
スカート の交換	12
カッティング ブレードの交換	13
摩耗ガードの確認と交換	13
整備表	14
磨耗の低減と損傷の回避	15
主要構成部品	16
技術仕様	17
整備と修理	18
廃棄	18
CE 適合証明書	19

お客様各位

この度は STIHL 社の製品をお買上げいただきまして誠に有難うございます。

この製品は、最新の製造技術と入念な品質保証処置を施して製造されました。私共は、お客様がこの製品を支障なく使用され、その性能に満足していただくために最善の努力を尽くす所存でおります。

ご使用の製品に関して御質問がおりの際は、お買上げの販売店あるいは直接当社カスタマー サービスにお問い合わせください。

敬具

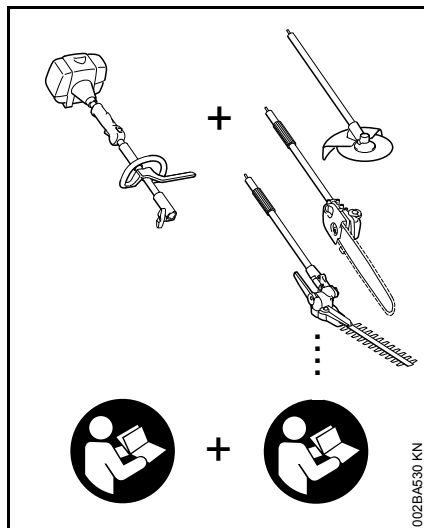


ニコラス・スチール博士

STIHL®

FCB-KM

コンビツール



STIHL コンビシステムでは、パワー ツールとしてさまざまなコンビエンジン やコンビツールを組み合わせることが できます。本取扱説明書では、コンビ エンジンおよびコンビツールで構成さ れる本体一式をパワー ツールと呼びま す。

そのために、パワー ツール用に個別の コンビエンジンとコンビツールの取扱 説明書が必要です。

必ず両方の取扱説明書 (コンビエン ジンおよびコンビツール) を読んで、内 容をよく理解してから機械を使用し てください。以後の参照用に安全な場所 に保管してください。

はじめに

シンボル マークについて

マシンに表示されているシンボルマ ークは、本取扱説明書で説明されてい ます。

段落の前に付いたシンボルや数字



警告

人に及ぼす事故やケガ、更に重大な物 的損傷に対する警告。



注記

本機本体あるいは構成部位の損傷に対 する警告。

技術改良

当社の信条として、常に自社製品の改 良を心がけております。この理由か ら、製品の設計、技術、外観が定期的 に改良される場合があります。

そして、変更、修正、改良の種類によ っては、本取扱説明書に記載されてい ない場合があります。

使用上の注意および作業方 法



エッジャーは切断速度や 回転速度が速く鋭利なの で、特別の安全措置を講 じてケガの危険性を回避 してください。



初めて本機を使用する前 に、両方の取扱説明書 (コンビエンジンおよびコ ンビツール) を注意深く お読みになり、必要な時 に見られるよう確実に保 管してください。本取扱 説明書に準拠していない 操作をすると、重大な傷 害や生命の危険にいたる 事故を起こす恐れがあり ます。

本機の機種とその操作を熟知している 人以外には、譲渡および貸与しないで ください。必ずコンビエンジンおよび コンビツールの取扱説明書を、本機と 共に渡してください。

エッジャーは、通路、花壇および芝生 の縁を切りそろえるためにのみ使用し ます。

本機は他の目的で使用してはなりません - **事故の危険があります!**

当社が本機での使用を承認した、または 技術的に同等のブレードまたはアク セサリーのみをご使用ください。これ に関して不明な点がある場合は、 STIHL サービス店へお問い合わせくだ さい。

高品質ツールおよびアクセサリーだけ をご使用ください。さもないと、事故 や本機の破損の恐れがあります。

当社では STIHL 純正の交換部品のご使用をお勧めします。これらは、お客様の機種およびご使用になる性能要件に合わせて、特別に設計されています。

エッジャーに取り付けられたデフレクターでは、回転するブレードによる飛散物（砂利、ガラス、ワイヤなど）すべてからは、作業者を守れない場合があります。飛散物が作業者の方向に飛び、当たる恐れがあります。

機械を改造しないでください。安全性が脅かされることがあります。STIHL は、承認されていないアタッチメントを使用した際の人的傷害および物的損害に対しては当社は一切保証を行いません。

機械の清掃に高圧洗浄機を使用しないでください。強い流水で機械の部品を損傷する恐れがあります。

衣服と装備

規定に沿った服装と装備を身に付けること。



作業着は丈夫なもので、身体に合い、作業しやすいことが最も重要です。作業用のコートではなく、身体にぴったりしたオーバーオールと上着を組み合わせた安全作業服を、着用してください。

枝、藪、機械の可動部などに引っかかる物を、身に付けしないでください。スカーフ、ネクタイ、装身具を身に付けしないでください。長い髪は後ろで束ね、引っかからないようにしてください（スカーフ、帽子、ヘルメットなどに押し込むなど）



滑らない靴底で爪先に鋼板の入った安全靴を履いてください。



警告



目の負傷の危険性を低減するため、EN 166 基準に準拠したしっかりとフィットする安全ゴーグルを着用してください。安全ゴーグルが正しくフィットしていることを確認してください。

顔面シールドを着用し、正しくフィットしていることを確認してください。顔面マスクだけでは眼を十分に保護できません。

「自分専用」の耳の保護具を着用してください - たとえば防音用耳栓を着用してください。

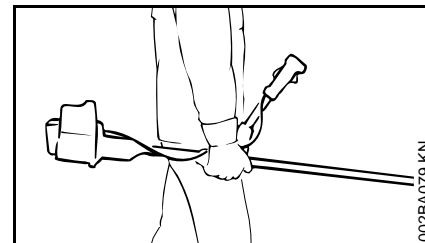
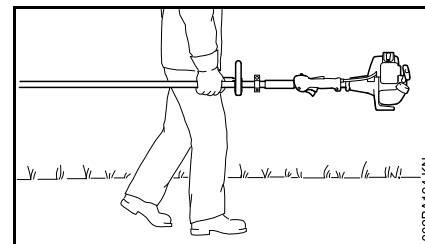
落下物の危険がある場所では、ヘルメットを着用してください。



耐性素材（革など）でできた、丈夫な保護手袋を着用してください。

STIHL では、作業者の防護のために各種の作業服や装備を用意しています。

機械の運搬時の注意



最初に必ずエンジンを停止します！

シャフトを持って機械を運ぶことで、機械のバランスを保ちます - カutting アタッチメントは前を向いている必要があります。

絶対に熱くなっている部分に触れないでください。**火傷の危険があります！**

乗り物で運搬する時：機械が倒れたり、燃料が流れ出たり、破損しないように、固定してください。

始動前

機械が正しく取り付けられ、良好な状態になっているか確認します - コンビエンジンおよびコンピツールの取扱説明書の関連項目を参照してください：

- カutting ブレード：正しく取り付けられており、しっかり固定されており、適切な状態にある（清潔か、自由に動くか、ゆがんでいないか）
- 安全装置の損傷や磨耗を点検します。デフレクターが損傷している機械を使用しないでください - 損傷している部品は交換してください。
- 操作部や安全装置に改造を加えないでください - デフレクターが取り付けられている場合のみ作業してください
- ハンドルは乾いた清潔な、オイルや汚れのない状態に保ちます - 機械を安全に操作するために重要です
- 吊り下げ用ハーネスとハンドルを身長や手の長さに合うように調整します。

正常に作動する機械だけを使用してください - **事故の恐れがあります！**

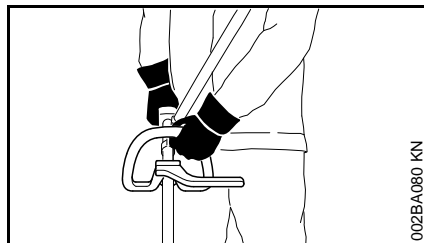
ハーネスを使用しているときの緊急事態に備えるには：本機を地面に素早く下ろせるように練習します。この練習中に機械を損傷することを避けるため、機械を地面に投げ下ろさないでください。

機械の保持と操作

足場は常に、しっかりと安全にしてください。

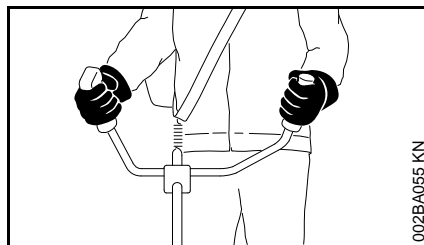
必ず両手でハンドルを持って機械を保持します。

ループハンドル付き機種



ループハンドル及びバリアバー付きループハンドルの機種については、ループハンドルを左手で、コントロールハンドルを右手で握ります - 左利きでも同様です。

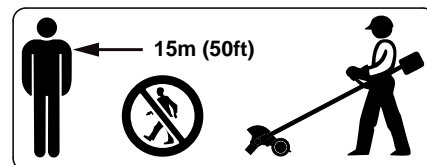
バイクハンドル付き機種



右手でコントロールハンドルを握り、左手でハンドルバーグリップを握ります。

作業中

差し迫った危険や緊急の場合、スライドコントロール / 停止スイッチ / 停止ボタンを **0** または **STOP** に動かして、速やかにエンジンを停止します。

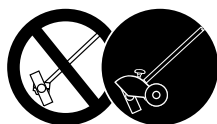


作業場の周りの広い領域内で、飛散物による事故のリスクがあります。ですので、機械の半径 15 m 以内にだれもないことを確認しますこの距離は物体（車両、窓ガラスなど）に対しても維持する必要があります - **器物の損傷の危険があります！** 15 m を超える距離ですら、危険性はなくなりません。



ブレードに触れないようにします - **ケガの危険があります！**

正しくアイドルしているか確認して、スロットルトリガーを放したときにブレードが動作を停止するようにします。アイドル設定を定期的に点検および / または修正します。それでもブレードが動き続ける場合は、スチールサービス店に機械の修理を依頼してください - コンビエンジンの取扱説明書を参照してください。



使用する機械およびカッティングアタッチメントに対応したデフレクターを取り付けずに作業することは、絶対にしないでください - 飛散物のためにケガをする危険があります。



作業時に機械は熱くなります。絶対にギヤーハウジングに触れないでください - 火傷の危険があります！

傾斜地や平らでない地面などの滑りやすさ、水滴、雪に注意します。スリップする危険があります！

障害物に注意：切り株、根 - つまづく危険があります！



作業区域の確認：石や金属部品などの硬い物体が、カッティングブレードによって横に飛び散ることがあります - 15 m を超える距離ですら、ケガの危険があります！ - カッティングアタッチメントや他の器物（駐車中の車両、窓など）を損傷することもあります。



ケーブルやコードが敷設された地面の上や直下で作業しないでください - 感電の危険性があります！コンピツールで触れたり損傷させたりすると、重傷または死亡に至る負傷を負う可能性があります。

足場は常に、しっかりと安全にしてください。

手に負えないほど密生した草に覆われた場所で作業するときは、特別な注意を払ってください。

イヤープロテクターをつけている場合は、より大きな注意力が必要です。危険を告げる音、叫び声、警笛などが聞こえにくくなるからです。

疲労が蓄積しないように、適切な時期に休息をとってください **事故の危険があります！**

日中で十分な視界のある場所で、冷静かつ思慮深く作業してください。特に慎重に作業します。他者を危険にさらさないでください。

エンジンが作動しているときは、ブレードに絶対に触れないでください。ブレードに物体が挟まった場合、物体を取り除こうとする前に、直ちにエンジンを停止してください - **ケガの危険があります！**

物体が挟まったブレードは、同時にスロットルを開くと、負荷が増加して、エンジン回転が低下します。常にクラッチが滑る場合は、重要な部品の過熱や損傷が原因です（クラッチ、プラスチックハウジング部品など） - アイドリング時のブレード回転などにより - **負傷のリスクがあります！**

不適切な使用のため（例えば、衝撃や衝突による影響）、エンジン駆動機械に応力がかった場合には、作業を継続する前に、機械が安全動作状態になっているか必ず点検してください。「始動前」も参照してください。安全装置が支障なく作動することを確認します。お使いの機械に損傷がある場合は、作業を続けしないでください。はっきりしない場合は、サービス店に点検を依頼してください。

短い間隔で定期的に、および明らかに変化に気付いたときすぐに、ブレードを点検します：

- エンジンを切り、エッジャーをしっかりと保持してブレードを芝生に押し付けて停止させます。
- 状態および接続部分がしっかりとしていることを確認し、クラックの有無を点検します
- 欠陥のあるブレードは速やかに交換する必要があります。小さな細かいひびが見られる場合も同様です。

作業時、カッティングアタッチメントとデフレクター周辺部分を定期的に掃除してください。

- エンジンを停止します
- 手袋を着用します。
- 芝、雑草、泥などを取り除きます。

カッティングアタッチメントを交換するには、エンジンのスイッチを切ります - **ケガの危険があります！**

損傷したあるいは亀裂の入ったブレードを再使用または修理（溶接、真直ぐにするなど）しないでください - 変形する（アンバランスになる）危険があります。

小片や破片がカッティングアタッチメントから飛んで、高速で作業員や他の居合わせた人に当たることがあります - **重傷の危険があります！**

回転している金属製カッティングアタッチメントが石や他の硬い物体に当たると、火花が発生し、特定の条件下では燃えやすい物質への引火の原因となる可能性があります。特に高温で乾燥した状況下では、乾燥した植物や雑木が燃えやすい物質に含まれます。火災

の危険がある場合、容易に燃える物質、乾燥した植物や雑木の近くで金属製のカッティングアタッチメントを使用しないでください。火災の危険があるかどうか、必ず該当する森林委員会に確認してください。

作業後

作業終了後、または本機を保管する前に：エンジンを停止します。

作業終了後、カッティングアタッチメントを定期的に掃除して埃、汚れ、泥、草木を取り除いてください - 手袋を着用します - **負傷の危険性があります！**

掃除する時は、グリース溶剤を使用しないでください。

十分に掃除した後、金属製カッティングアタッチメントの表面に防錆剤を塗布してください。

整備と修理

定期的にも本機を整備してください。コンピツールおよびコンビエンジンの取扱説明書に書かれている整備や修理だけを行ってください。その他すべての作業はスチール サービス店に依頼してください。

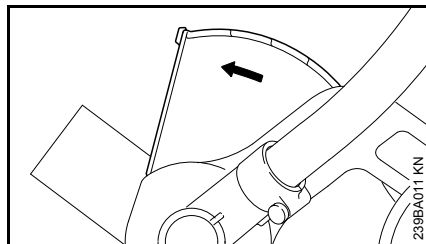
当社では整備や修理を、認定を受けたスチール サービス店のみ依頼されることをお勧めします。スチール サービス店には定期的にトレーニングを受ける機会が与えられ、必要な技術情報の提供を受けています。

高品質の交換部品のみを使用して、事故および本機の損傷を回避してください。これに関して不明な点がある場合は、スチール サービス店へお問い合わせください。

当社ではスチール純正交換部品のご使用をお勧めします。これらは、お客様の機種およびご使用になる性能要件に合わせて、特別に設計されています。

ケガの危険を回避するため、本機の保守、修理、または掃除を実行する前に、**エンジンを必ず切ってください。**

カッティングアタッチメントおよびデフレクター



デフレクターの矢印は、ブレードの回転方向を示しています - 「本機の使い方」を参照してください。

エッジャーは、スカートがデフレクターに適切に取り付けられた状態でのみ操作してください - 「スカートの交換」を参照してください。

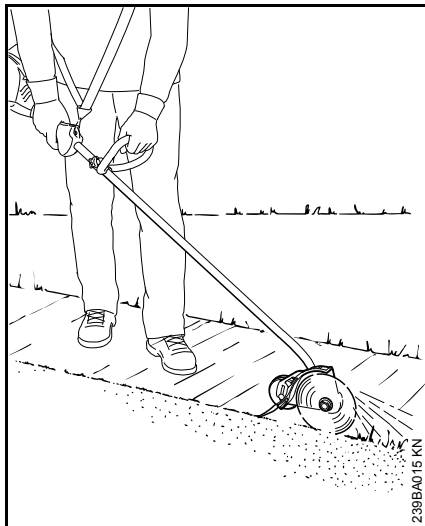
ブレードは適切に取り扱ってください - 「本機の使い方」を参照してください。

最適な切断性能：フルスロットルおよび一定の圧力。

当社はスチール純正ブレードのご使用をお勧めします - 「特殊アクセサリ」の項を参照してください。

STIHL が本機での使用を承認した、または技術的に同等のデフレクターやアタッチメントのみをご使用ください。

本機の使い方



エッジャーは芝生に明確な輪郭を作るのに最適です。ほとんどあらゆる種類の草や雑草や柔らかい緑色植物を切り払います。

準備

地面が非常に乾燥している場合、作業を開始する前に少し水を撒きます：これによって地面が多少やわらかくなり、粉塵の発生量が少なくなります。- わずかに湿っている緑色植物は刈りやすくなっています。

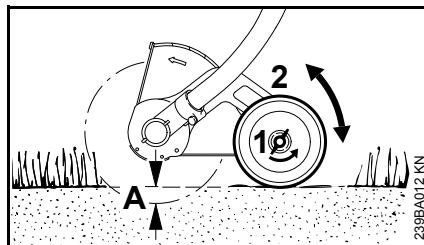


警告

作業区域から障害物や異物をすべて取り除いてください。

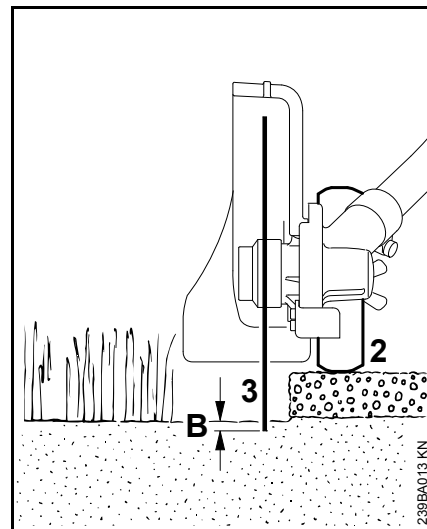
- 刈り込みの最適経路を計画します-必ず身体の右側に保持して、操作します。

切り込み深さの調整



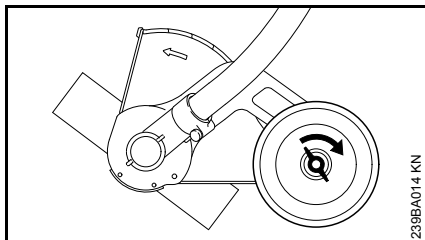
- エンジンを停止させます - 事故の恐れがあります！
- ウィングナット (1) を、反時計回りに回して緩めます
- ホイール (2) を調整します：上 - 切り込み (A) の深さが増します。下 - 切り込み (A) の深さが減ります。

正しく調整します



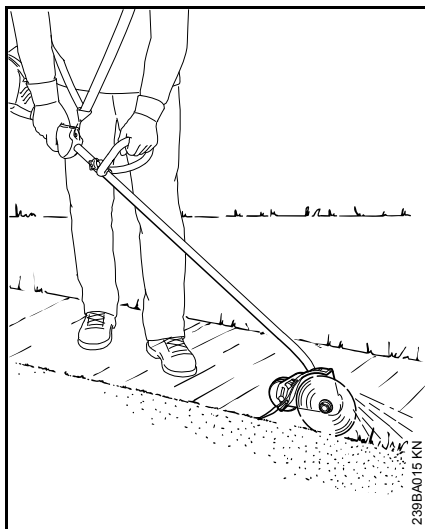
切り込みの深さは、凹凸のある地面、作業者の高さや位置によって影響を受けます。このため、

- 機械が通常の作業姿勢で保持された時、ブレード (3) が軽く地面に触れるか、深さ (B) が最大 5mm まで食い込むように、ホイール (2) を調整します。



239BA014 KN

- ウイングナットを時計回りに締めます
- 通常の作業位置に立ち、切り込みの深さを再度確認します - 必要に応じて修正します



239BA015 KN

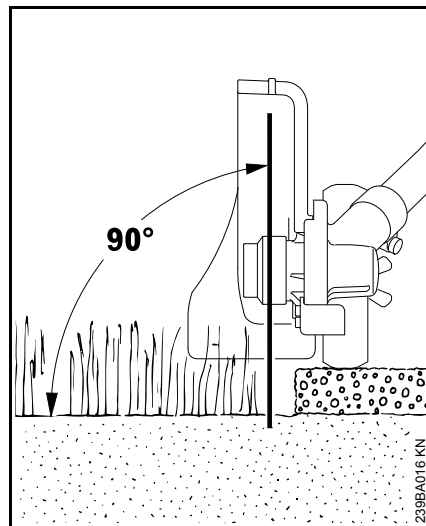
警告

デフレクターは調整しないでください。

デフレクターは、デフレクターの矢印と開いている側が作業者に向かないように、メーカーによって設定されてい

ます。これにより切りくずやその他の小片が、機械と作業者から確実に離れた方向に向かいます。

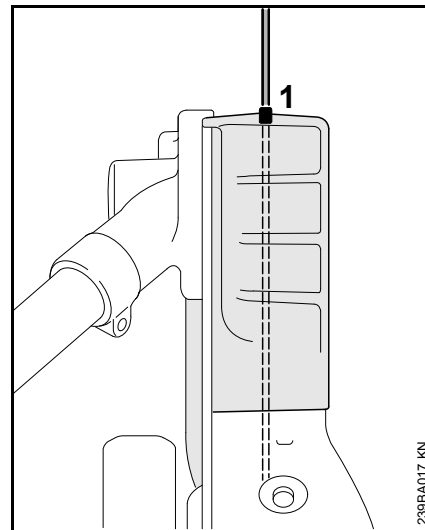
エッジング



239BA016 KN

- エンジンを始動します。
- 切断はハーフスロットル以上で開始し、フルスロットルで切断を続けます。
- ブレードが垂直になるように、機械を保持して操作します。
- エンジン回転数が目立って下がらないように、徐々に切断します - 力を加えすぎないでください。
- 通常の歩行速度で切断します。
- ブレードを地面に押し込まないでください！

- 切断するときは必ず前進し、本機を自分の方に引き寄せないでください。
- 一定のペースで切断してください - 同じところを複数回刈り込まないようにします。



239BA017 KN

- ブレードが縁に沿うように、カッティングブレードの照準線(1)を使用してください。

承認されたコンビエンジン

コンビエンジン

当社が供給するコンビエンジン、あるいは当社が書面により特定のモデルでの使用を承認したコンビエンジンだけが承認されています。

次のコンビエンジンとのみこのコンビツールは使用してください：

STIHL KM 55 R、KM 56 R、KM 85 R、KM 90、KM 90 R、KM 94 R、KM 100、KM 100 R、KM 110、KM 110 R、KM 130、KM 130 R

警告

ループハンドル付きの機種については、クリップ（バリアバー）を取り付ける必要があります。

分離ドライブチューブ付き刈払機

このコンビツールは、分離ドライブチューブ付きの STIHL 刈払機（T モデル、基本パワーツール）にも取り付けることができます。

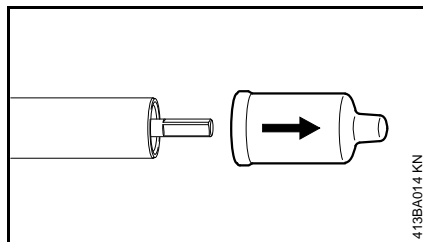
このため、このコンビツールは次の機種でも使用することができます：

STIHL FR 130 T

警告

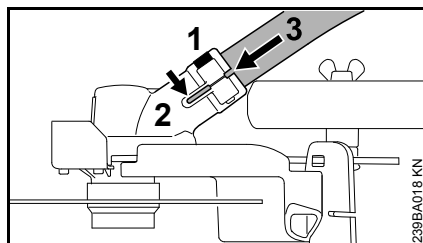
クリップ（バリアバー）を使用するには、機械の取扱説明書をお読みください。

運転準備



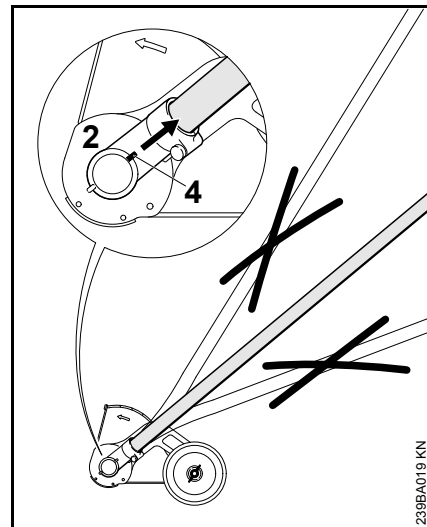
- シャフトの端に取り付けられたプロテクトキャップを取り外し、後で使用するために安全な場所に保管してください - 「機械の保管」を参照してください。

ドライブチューブのギヤボックスへの接続



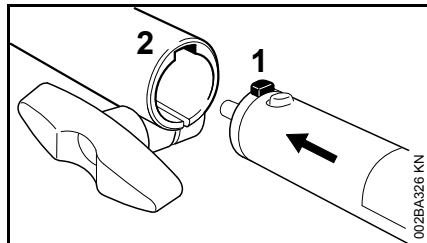
- ギヤボックスのスクリュー (1) を緩めます - 取り外さないでください。
- ドライブチューブ (3) のカーブした端をギヤボックス (2) に挿入します。必要に応じてギヤボックスを左右に回します。

- シャフト (3) を止まるまで押し込みます。
- スクリュー (1) を止まるまでねじ込みます - まだ締めないでください！

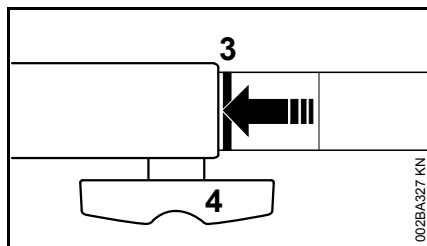


- ギヤボックス (2) の位置をシャフト上で合わせ、リブ (4) がシャフトに揃うようにします。
- スクリューでしっかりと締め付けます。

コンビツールの取付け



- ドライブチューブの突出部(1)をカップリングスリーブのスロット(2)に、止まるまで押し込みます。



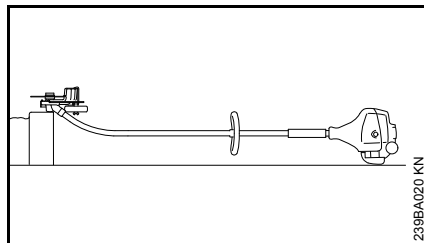
適切に取り付けると、赤線(3)(矢印で示した部分)がカップリングスリーブの端とぴったり重なります。

- スターノブ(4)をしっかり締め付けます。

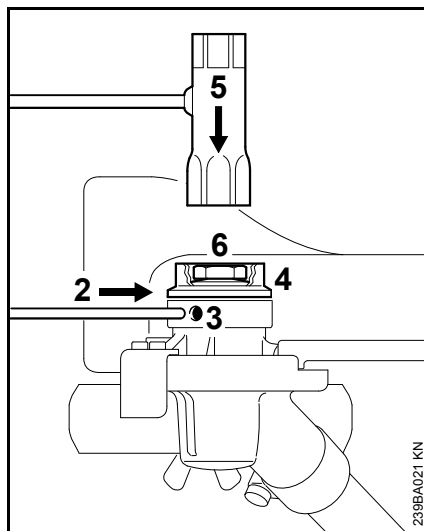
コンビツールの取外し

- ドライブチューブを取外すには、上記と逆の手順を行います。

カッティングブレードの取付け

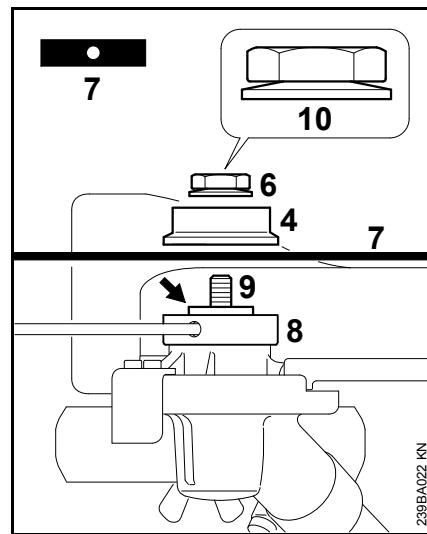


- ブレード取付け部(1)が前を向くようにエッジャーを置きます



- できる限りロッキングピン(2)をボア(3)に挿入し、シャフトがブロックされるまで、軽く押しながらスラストワッシャー(4)と共に少し左右に回転させます。
- レンチ(5)をナット(6)に合わせます。

- ナットを時計回りに回し(左ねじ)、取り外します。
- スラストワッシャーを外します。



- ブレード(7)をスラストプレート(8)の上に置きます。

⚠ 警告

カラー(矢印)をブレードの穴にかみ合わせる必要があります。

- スラストワッシャー(4)をシャフト(9)に取り付け、シャフトを固定します。
- ナット(6)をシャフト上で反時計回りに回し、締めます。

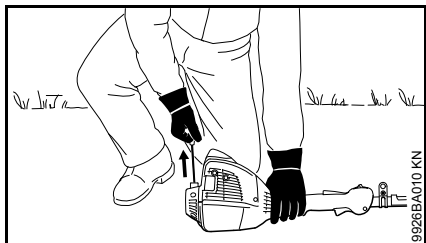
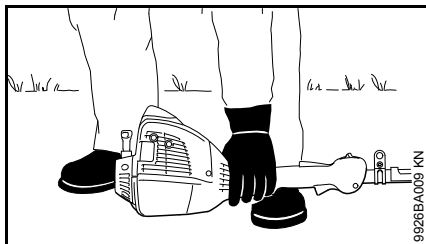
⚠ 警告

ナット(6)のカップスプリング(10)が疲労していたら、ナットを交換する必要があります！

エンジンの始動と停止

エンジンの始動

エンジンを始動するには、基本的にコンビエンジンあるいは基本パワーツールの使用に関する指示に従ってください。



- 機械を安全な場所の地面に横にして置きます

ブレードは地面やその他の障害物と接触しないようにしてください - **事故の恐れがあります!**

- 安定した足場を確保します - 立つか、膝を折るか、ひざまづく
- 機械を左手で地面にしっかり押し付けます - この時、コントロールハンドルのコントロールエレメントに触れないようにしてください -

コンビエンジンまたは基本パワーツールの取扱説明書を参照してください



注記

シャフトの上に立ったり、膝を付いたりしないでください!



警告

エンジンが始動すると、運転開始してすぐにブレードが回転する場合があります - このため、エンジンがかかり次第、スロットルトリガーを軽く引いてください - エンジンがアイドリングを開始します。

その他の始動手順は、コンビエンジンまたは基本パワーツールの取扱説明書に説明してあります。

エンジンの停止

- コンビエンジンまたは基本パワーツールの取扱説明書を参照してください。

機械の保管

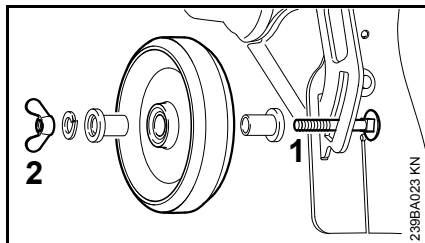
3 ヶ月以上保管する場合

- カutting ブレードを取り外し、きれいにして点検してください。
- コンビツールをコンビエンジンから取り外して個別に保管する場合: ドライブチューブにプロテクトキャップを被せて、カップリングにホコリがつかないようにします。
- 機械を乾いた、高所または鍵の掛かる場所に保管してください。子供などによる許可外の使用を避けてください。

デプス ホイールの交換

磨耗したホイールはスチールサービス店に交換を依頼してください。当社では、整備や修理を STIHL 認定サービス店だけに依頼されることをお勧めします。

ホイール

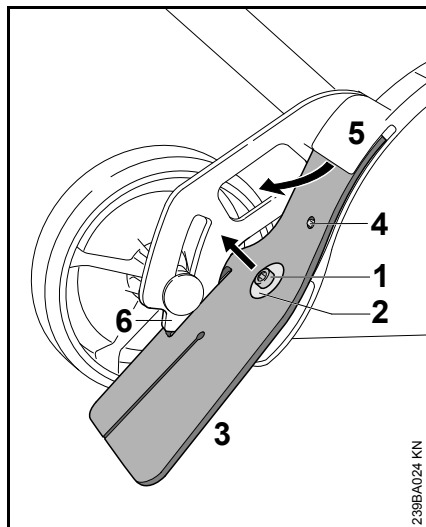


- ウイングナット (2) が失われないうちに、ねじ山の先端 (1) は変形されています。

ウイングナットは大きな力を加えないとスクリーから外すことができません。その後部品を再び取り付けた場合、「フィラー キャップ リテーナー」機能は保証されません。この場合、スチールサービス店にスクリーとウイングナットの交換を依頼してください。

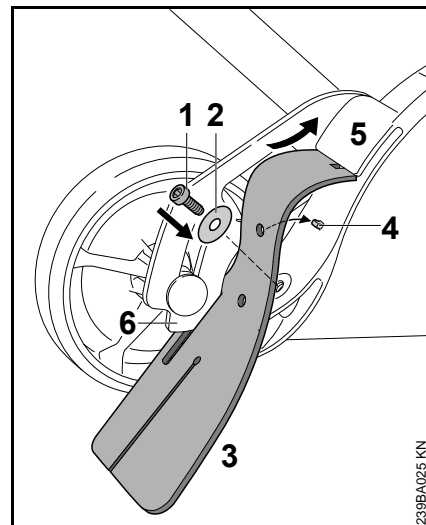
スカート交換

スカートの取り外し



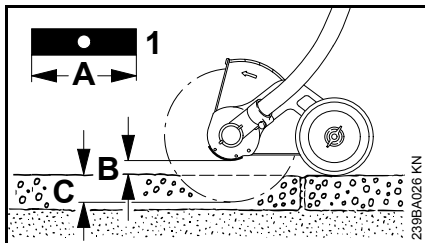
- スクリュー (1) を緩めて取り外します。
- ワッシャー (2) を外します
- スカート (3) をセグメント (6) とデフレクター (5) のギャップから引き出します。

スカートの取り付け



- デフレクターのギャップにスカートを簡単に押し込むには、スカートの先端に非樹脂系のオイルを薄く塗布します。
- スカート (3) をセグメント (6) にねじ込み、デフレクターのギャップ (5) に押し込みます - スカートの穴は、プレス軸 (4) に固定される必要があります。
- ワッシャー (2) をスクリュー (1) 上に置きます。
- スクリュー (1) を挿入して締め付けます

カッティング ブレードの交換



曲がった、り亀裂の入ったブレードをまっすぐにしたり溶接したりしないでください - 完全に破損する場合があります！ - 交換する必要があります - 「ブレードの取付け」を参照してください。

当社はスチール純正ブレードのみのご使用をお勧めします。

ブレードを目立てしないでください。

- ブレード (1) の長さ (A) が不十分で、地面との必要なクリアランス (B) と共に必要な切り込み深さ (C) を調整することができない場合、ブレードを交換します。

バランスの確認

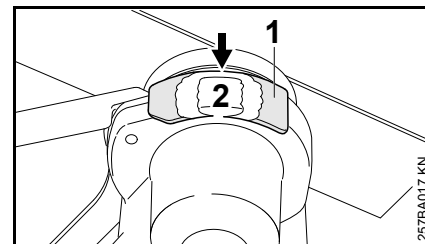
アンバランスなブレードは避けてください：

- ブレードのバランスが崩れていないことを確認するため、スチール balancer (特殊アクセサリ) によるチェックを専門店で依頼してください - 当社は、スチール サービス店に依頼されることを、お勧めします - バランスが崩れている

場合は、ブレードを交換してください。「ブレードの取付け」を参照してください。

摩耗ガードの確認と交換

摩耗ガードの確認

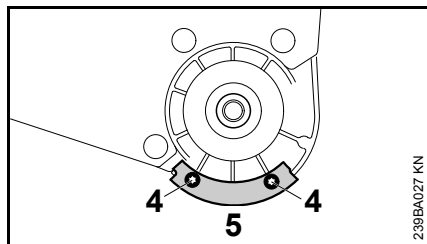


- 機械を始動する前に、摩耗ガード (1) が損傷していないことを確認してください。
- 最低でも、ギヤボックス (2) が見えるようになったら (矢印)、摩耗ガードを交換してください。



摩耗したガードを適切な期間に交換しなかった場合は、ギヤボックスの深刻な損傷の原因となる場合があります。

摩耗ガードの交換



- ブレードを取り外します - 「ブレードの取付け」を参照してください
- スクリュー (4) を緩めます
- 摩耗ガード (5) を交換します
- スクリュー (4) を回し、締め付けます
- ブレードを取り付けます - 「ブレードの取付け」を参照してください

整備表

次の項目は、通常の使用条件の場合に適用されます。毎日の作業時間が通常よりも長い場合、あるいは作業条件が悪い場合（非常に埃の多い場所など）は、それに応じて、表に示された間隔よりも短くしてください。

手の届くすべてのスクリュー、ナットおよびボルト

- 点検して、必要に応じて再度締め付けます

ホイール

- 作業開始前の目視検査
- 作業開始前にウイングナットが固定されていることを確認します
- 必要に応じて交換します - 「ホイールの交換」を参照してください

スカート

- 作業開始前の目視検査
- 損傷している場合は交換します - 「スカートの交換」を参照してください

ブレード

- 作業開始前の目視検査
- 作業開始前にこれが固定されていることを確認します
- 必要があれば、バランスが崩れていないことを確認するためチェックしてもらってください。バランスが崩れていれば交換してください - 「ブレードの交換」を参照してください。
- 損傷している場合は交換します - 「ブレードの交換」を参照してください

摩耗ガード

- 作業開始前の点検
- 必要があれば交換してください - 「摩耗ガードの確認および交換」を参照してください

安全情報ラベル

- 判読できない安全情報ラベルを交換します

磨耗の低減と損傷の回避

本取扱説明書とコンピエンジンの取扱説明書の記述を遵守して使用すると、パワーツールの過度の磨耗や損傷が回避されます。

パワーツールの使用、整備並びに保管は、これらの取扱説明書の記述に従って十分な注意をはらって行ってください。

特に以下の場合のように、安全に関する注意事項、取扱説明書の記述内容および警告事項に従わずに使用したことにより起因する全ての損傷については、ユーザーが責任を負います：

- スチールが許可していない製品の改造。
- 当製品への適用が承認されていない、適していない、または低品質のツールやアクセサリを使用。
- 指定外の目的に当製品を使用。
- スポーツ或いは競技等の催し物に当製品を使用。
- 損傷部品を装備したままで当製品を使用したことから生じる派生的損傷。

整備作業

「整備表」の章に列記されている作業は、必ず全て定期的に行ってください。整備作業を使用者が自ら行えない場合は、サービス店に依頼してください。

当社では整備や修理を、認定を受けたスチール サービス店だけに依頼されることをお勧めします。スチール サービス

店には定期的にトレーニングを受ける機会が与えられ、必要な技術情報の提供を受けています。

上記整備作業を怠ったことが原因で生じた以下のような損傷に対しては、上記の例として、以下の部品が挙げられます：

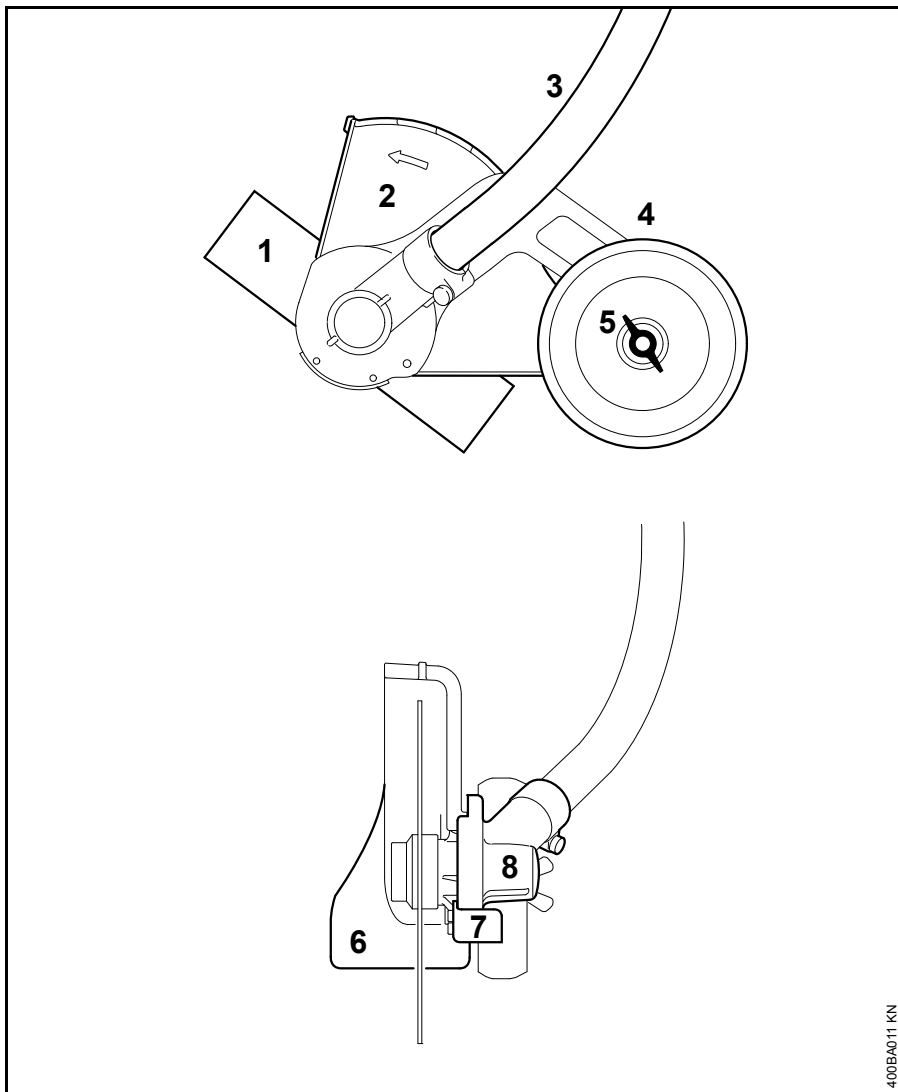
- 不適切な保管に起因する腐食およびその他の派生的損傷。
- 低品質の交換部品を使用したことによる当製品の損傷。

磨耗部品

パワーツールの部品によっては、規定どおりに使用しても通常の磨耗は避けられません。これらの部品は、使用の種類や期間に合わせて適時に交換してください。上記の例として、以下の部品が挙げられます：

- ブレード (全種)
- ブレード固定用パーツ
- デフレクター、スカート
- 摩耗保護具

主要構成部品



- 1 ブレード
- 2 ガード
- 3 シャフト
- 4 ホイール
- 5 ウイングナット
- 6 スカート
- 7 摩耗ガード
- 8 ギヤボックス

400BA011 KN

技術仕様

エンジン回転数

コンビエンジン付きカッティング アタッチメントの最大出力シャフト回転数：

KM 55 :	7700 rpm
KM 56 R:	8100 rpm
KM 85 R:	8500 rpm
KM 90 :	8300 rpm
KM 100 :	8300 rpm
KM 110 :	8300 rpm
KM 130 :	8500 rpm

分離ドライブ チューブ付きスチール刈払機 (Tモデル) 用カッティング アタッチメントの最大ドライブ シャフト回転数：

FR 130 T :	8300 rpm
------------	----------

重量

デフレクターとブレード付き：
2.0 kg

音圧・音響・振動レベル

音圧、音響、および振動の数値は、コンビツール FCB-KM が装着されたパワーツールの作動状態としてアイドリング回転および公称定格最大回転を均等に考慮して、計算されています。

Physical Agents の振動指令 2002/44/EC への適合の詳細については、www.stihl.com/vib/ をご覧ください。

ISO 11201 による音圧レベル L_{peq}

KM 55 R (ループ ハンドル付き) :	93 dB(A)
KM 56 R (ループ ハンドル付き) :	94 dB(A)
KM 85 R (ループ ハンドル付き) :	96 dB(A)
KM 90 R (ループ ハンドル付き) :	90 dB(A)
KM 100 R (ループ ハンドル付き) :	90 dB(A)
KM 130 (バイク ハンドル付き) :	95 dB(A)
KM 130 R (ループ ハンドル付き) :	95 dB(A)
FR 130 T :	94 dB(A)

ISO 3744 に準拠した音響出力レベル L_{weq}

KM 55 R (ループ ハンドル付き) :	103 dB(A)
KM 56 R (ループ ハンドル付き) :	104 dB(A)
KM 85 R (ループ ハンドル付き) :	108 dB(A)
KM 90 R (ループ ハンドル付き) :	101 dB(A)
KM 100 R (ループ ハンドル付き) :	101 dB(A)
KM 130 (バイク ハンドル付き) :	105 dB(A)
KM 130 R (ループ ハンドル付き) :	105 dB(A)
FR 130 T :	105 dB(A)

ISO 11789 による振動レベル $a_{hv,eq}$

	左ハンドル	右ハンドル
KM 55 R (ループ ハンドルおよびエルゴスタート付き) :	5.6 m/s ²	7.3 m/s ²
KM 56 R (ループ ハンドル付き) :	5.5 m/s ²	6.6 m/s ²
KM 85 R (ループ ハンドル付き) :	3.2 m/s ²	6.0 m/s ²
KM 90 R (ループ ハンドル付き) :	4.5 m/s ²	3.5 m/s ²
KM 100 R (ループ ハンドル付き) :	3.7 m/s ²	4.8 m/s ²
KM 130 (バイク ハンドル付き) :	5.8 m/s ²	3.6 m/s ²
KM 130 R (ループ ハンドル付き) :	6.1 m/s ²	6.8 m/s ²
FR 130 T :	3.9 m/s ²	2.1 m/s ²

指令 2006/42/EC に準拠した K-係数は、音圧レベルおよび音響出力レベルについて 2.5 dB(A) です。指令 2006/42/EC に準拠した K-係数は、振動加速度について 2.0 m/s² です。

REACH

REACH は EC の規定で、化学物質 (Chemical substances) の登録 (Registration)、評価 (Evaluation)、認可 (Authorisation)、規制を意味します。

REACH 規定 (EC) No. 1907/2006 の遵守の詳細については
www.stihl.com/reach をご覧ください。


整備と修理

本機を使用する方が実施できる保守および整備作業は、本取扱説明書に記述されていることだけです。それ以外の修理はすべてサービス店に依頼してください。

当社では整備や修理を、認定を受けたスチール サービス店だけに依頼されることをお勧めします。スチール サービス店には定期的にトレーニングを受ける機会が与えられ、必要な技術情報の提供を受けています。

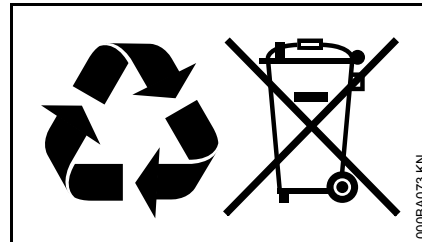
修理時には、当社が本機への使用を承認した、または技術的に同等な交換部品だけをご使用ください。高品質の交換部品のみを使用して、事故および本機の損傷を回避してください。

当社ではスチール オリジナルの交換部品のご使用をお勧めします。

スチール純正部品には、スチール部品番号、**STIHL**®ロゴマークおよびスチール部品シンボル マーク  が刻印されています。(小さな部品では、シンボルマークだけが刻印されているものもあります。)

廃棄

国別の廃棄の規則および規制を順守してください。



スチール製品は、家庭用ごみ入れに廃棄しないでください。製品、アクセサリ、包装は、環境に配慮してリサイクルを行うため、認可された廃棄場に持ち込んでください。

廃棄物処理の最新情報については、スチール サービス店へお問い合わせください。

CE 適合証明書

ANDREAS STIHL AG & Co. KG
Badstr. 115
D-71336 Waiblingen

は、下記の機械が

型式： コンビツール エ
 ツジャー
メーカー名： STIHL
種類： FCB-KM
シリーズ番号： 4180

指示書 2006/42/EC の仕様に適合して
います。また、製造日時点で有効だっ
た次の規格のバージョンに準拠して開
発、製造されました：

EN ISO 12100 (一覧表示された機械
KM および FR モデルに関連して)

技術資料の保管場所：

ANDREAS STIHL AG & Co. KG
製品許可部

製造年は機械に表示されています。

Waiblingen, 08.08.2014

ANDREAS STIHL AG & Co. KG

代理



Thomas Elsner

製品管理グループ部長



0458-471-4321-A

japanisch



www.stihl.com



0458-471-4321-A